**別紙**

# 令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
# 【高美南小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇チャレンジメニュー②：1-②子どもの参画

・子どもの「参加」から「参画」を目指すにあたり、限られた資材や材料の調達を小学生と一緒に考えたり、小学生に審査を担ってもらうなど、参加者から一段上がった役割を担ってもらう工夫についてご検討ください。

・地震を体験するだけでなく、「避難訓練・防災訓練の実施」の取り組みとの連携を図り、総合的な学びの機会とする手法についてご検討ください。

〇チャレンジメニュー④：2-③団体に属さない人の参画促進

・HP の更新や情報発信とあわせて、申込みフォームやアンケート、LINE 等を活用した連絡網など、参画しやすい環境設計についてご検討ください。

・事業に参加いただいた方に、簡単なお手伝いから段階的に関わっていただける手法についてもあわせてご検討ください。

〇チャレンジメニュー⑤：3-①ホームページやインスタグラムや X など SNS の導入

既存の HP 管理とあわせて、SNS の導入や活用についてもご検討ください。

〇チャレンジメニュー⑦：4-③まち協構成団体以外の主体との連携

他の健康に関する取り組みとの連携についてご検討ください。

〇取り組み①：ふれあい農園事業

・とても良い取り組みだと思います。新たな参加者も参加しやすい仕組みや幅広い広報についてご検討ください。

・農作業とあわせて、収穫物を活かした活動についてもご検討ください。

〇取り組み④：健康運動事業

他の健康に関する取り組みとの連携についてご検討ください。

〇取り組み⑦：人権啓発事業

・小学生が企画者となり実施するような取り組みについてもご検討ください。

・小学生に人権について考えてもらうのは良い取り組みだと思います。他の人権に関する取り組みとの連携についてもご検討ください。

**別紙**

〇取り組み⑧：人権学習施設見学事業
〇取り組み⑨：人権講演会事業
　上記と同様、他の人権に関する取り組みとの連携についてもご検討ください。

〇取り組み⑩：避難訓練・防災訓練の実施
　「地震体験事業」との連携を図り、効果を高める手法についてご検討ください。

〇取り組み⑪：AED 設置事業
　まちの中で実際に AED がある場所を知ることができるような取り組みについてご検討ください。

〇取り組み⑫：地震体験事業
・起震車とあわせて、他にも地震を体験することができる企画についてご検討ください。
・地震を体験するだけでなく、「避難訓練・防災訓練の実施」の取り組みとの連携を図り、総合的な学びにする手法についてご検討ください。

〇取り組み⑬：広報事業
・HP とあわせて、参加申込フォーム作成やアンケート調査、LINE 通知など、様々な手法を活用した情報発信についてご検討ください。
・外部人材の活用とあわせて、組織内で ICT リテラシーについて学ぶ取り組みについてもご検討ください。

〇取り組み⑭：フリーマーケット事業
　社会経験だけでなく、中学生にまちづくりの一端を経験してもらい、広報事業の担い手へと誘導できる手法についてご検討ください。

〇取り組み⑮：地域見守り活動事業
　配布した啓発缶バッチの活用状況について、実際にどれくらいつけて外出しているのかやその効果検証の実施についてご検討ください。

〔今後の活動にかかる助言〕
※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

〇取り組み②：地域内一斉清掃事業
　共同で行う地域での取り組みとして、目に見える効果があるよい取り組みだと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み③：フレイル予防チャレンジ大作戦
　健康について、目に見える数値化した取り組みで効果が期待できると思います。今後について

も、引き続き継続して実施してください。

〇取り組み⑥：伝統・文化継承もちつき大会事業
多国籍の方を対象として日本の文化を伝承する良い機会だと思いますし、交流のきっかけにもなりうる良い取り組みだと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

〇全体を通して
・高美南小学校区が「防災」「人権」「健康」を地域づくりの重要な柱として、多様な世代を巻き込みながら継続的に活動されていることが伝わってきました。特に、小学校・中学校との連携を通じて、地域活動に子どもたちが自然に関われる仕組みができている点は大きな強みだと感じます。
一方で、個々の事業は充実しているものの、それらを貫く地域全体のストーリーやビジョンがやや見えにくい印象もありました。高美南校区として「どんな地域を目指しているのか」、例えば多文化共生・防災力向上・世代間交流などの中心テーマを明確にすることで、各事業の意義やつながりがより伝わりやすくなると思います。
・子ども向け事業が多いことは大きな特徴ですが、今後は子どもを参加者としてだけでなく、企画・運営・発信の担い手として位置づけることで、「参加から参画へ」のステップアップが期待できます。
・防災事業についても、体験型イベントで終えるのではなく、家庭内での備蓄や避難行動の見直しなど、日常の行動変容につながる仕組みを加えることで、より実効性が高まると考えます。
・ICT 活用については広報に加え、参加管理や担い手発掘など運営基盤の強化に活用していくことで、持続可能な地域運営につながることを期待しています。
・関連させることによって効果が大きくなる可能性のある事業が散見されます。相互の連携を行なってより効果的な事業にして欲しいです。
・中学生と行うフリーマーケットは、新たな担い手創出の機会になると思いますので、まちづくりに対する知見も併せて伝えられるといいかと思います。